

第44回九都県市合同防災訓練（兼令和5年度相模原市総合防災訓練） の実施結果について

概要

関東大震災から100年の節目の日に、消防、警察、自衛隊及び在日米陸軍など、146機関・団体が参加し、本市を中央会場として、九都県市合同防災訓練を実施しました。また、当日は、政府が実施する「令和5年度「防災の日」総合防災訓練」の一環として、岸田内閣総理大臣が会場を訪れ、本村市長と共に訓練の様子を視察されました。

実施日時（主会場）

令和5年9月1日（金曜日）午前10時から午後0時15分まで
※防災フェア（展示・体験）は、午前9時から午後0時30分まで

実施場所（主会場）

相模総合補給廠一部返還地及び相模原スポーツ・レクリエーションパーク

参加機関等

参加機関・団体 146機関・団体
参加者 約4,600人

訓練想定

令和5年9月1日（金曜日）午前10時00分、相模原市直下を震源とするマグニチュード7クラスの地震が発生。市内最大震度6強を観測、がけ崩れ、建物倒壊、火災等が発生し、死傷者も出ている。また、鉄道、道路、電気、ガス、水道、通信等のライフラインにも被害が発生している。

訓練内容 救護所運営訓練

1 訓練の概要

会場内に開設した救護所内（中央メディカルセンター救護所を想定）において、地震発生に伴う負傷を想定とした、傷病者のトリアージ、応急手当等を行うとともに、傷病者の搬送調整を行うため、市災害時保健医療調整本部との通信訓練を実施します。

2 訓練時間

午前10時00分～午前11時45分

3 実施場所

救護所訓練エリア

4 訓練項目

（1）トリアージ訓練

傷病者のトリアージを実施します。

（2）初期治療訓練

軽症・中等症・重症エリアで傷病者の応急手当等を実施します。

(3) 通信訓練

救護所用無線機を用いて市災害時保健医療調整本部との通信を実施します。

(4) 搬送訓練

担架等を用いて傷病者の車両への搬送を実施します。



